

事務事業評価(事前評価)シート【令和元年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	ヒグマ対策事業	事業番号	12019

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2	自然保護の推進
	施策目標	恵まれた自然環境を守り自然と人とのふれあいを大切にする	

2 事務事業の目的

目的	ヒグマによる地域の安全確保を図るため、ヒグマによる人身事故の未然防止に向けた必要な対策を実施するとともに、ヒグマとの共存を目指す。
成果	ヒグマによる事故や被害からの未然防止と安全対策の強化が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		29						
	30							
	31	① ヒグマ有害駆除従事者の任命 ② 箱わなの修繕 ③ ヒグマ出没対応(関係機関への情報提供・報道機関への周知・市民への注意喚起)						
	32	① ヒグマ有害駆除従事者の任命 ② 箱わなの修繕 ③ ヒグマ出没対応(関係機関への情報提供・報道機関への周知・市民への注意喚起)						
	33	① ヒグマ有害駆除従事者の任命 ② 箱わなの修繕 ③ ヒグマ出没対応(関係機関への情報提供・報道機関への周知・市民への注意喚起)						
事業費と内訳	(単位:千円)	H29	H30	H31	H32	H33	総事業費	
	事業費			394	394	394	1,182	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			394	394	394	1,182
		一般財源						
	人員(人工)			0.25	0.25	0.25	0.75	
職員費(人員×7,693千円)			1,923	1,923	1,923	5,769		
総事業費			2,317	2,317	2,317	6,951		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H30)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	チラシや広報誌、インターネット等の各種媒体を通じての周知	6回	8回	10回

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民へのヒグマによる事故や被害について注意喚起を行うことにより、市民の意識が高まり、ヒグマによる事故や被害からの未然防止が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない ヒグマによる事故や被害からの未然防止が図られるため、ニーズが高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市民の安全・安心な生活を守るために、市が主体となり、関係機関と連携を図りながら実施すべきものである。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない ヒグマによる事故や被害からの未然防止が図られるため、緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 関係機関と連携する中で対応策等について情報収集していることから手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 関係機関と連携する中で対応策等について情報収集していることから公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない ヒグマによる事故や被害からの未然防止が図られることから、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 積極的な注意喚起・広報活動により、市民の安全確保に努められるよう、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する ヒグマによる地域の安全確保を図るため、ヒグマによる人身事故の未然防止に向けた必要な対策を実施(積極的な注意喚起・広報活動により、市民の安全確保に努められるよう円滑に事業を推進)し、ヒグマとの共存を目指す。